スペルリーグ

Spell League ／ 英語学習

英単語を並べて正しい英文にすると、呪文になる。



英単語のカードをならべて英文をつくると、呪文になる

このアプリについて

英単語は「仲間」。書いて、声に出すほど育ちます。育てた仲間で英文を組み、呪文にして戦う、英語の対戦育成ゲームです。手札の単語カードと、I・the・is などの共通の語をならべて英文を組み、文法はルールで判定。通らなかったときは「どこから見直すか」を一言で返します。いまは試作版で、課金のしくみはありません。メールアドレスや本名は使いません。

こんな方へ

中学1年生〜高校3年生（英語が苦手な中学生をいちばんに考えています）。英語の先生が、つまずいた語の一覧や、作文コンテスト・リレー作文の運営に使えます。

画面



対戦：単語をならべて英文を組む



スペル道場：書いて、声に出して育てる

くわしい紹介・導入のご相談はこちら

https://app.soship.co.jp/app.php?id=spellleague

公式サイト：spell.fesvol.xyz/lp ／ 導入のご相談：soship.co.jp/contact

スペルリーグ

英単語を並べて正しい英文にすると、呪文になる。

できること

1. 組む：手札の単語カードと共通の語をならべて英文を組む。文法はルールで判定し、通らなかったときは「どこから見直すか」を一言で返す
2. 育てる：なぞる→見て書く→意味から書く、の3段階。思い出して書くと経験値1.5倍、声に出すと3倍
3. 文法が呪文になる：過去形・進行形・否定文などを、名前ではなく「何が起きるか」で覚える
4. ストーリーとリーグ：世界の国を旅するストーリー、1週間の練習量を競う「がんばりリーグ」、みんなで挑むボス戦
5. 先生の画面：つまずいた語の一覧、作文コンテスト・リレー作文の運営。教科書の英文から10語を仲間にする「本棚」も

なぜ、つくったのか

いちばんに考えたのは、英語が苦手な中学生です。単語をノートに何度も書く練習が退屈で続かない、文法の名前が意味不明、そんな理由の一つずつを、ゲームのしくみでほどきました。過去形・進行形・否定文などは、名前ではなく「何が起きるか」で覚えます。

これから

いまは試作版です。数値やしくみは、これから中学生の試遊で確かめて変えていきます。高校の文法も、これから広げます。



単語を書いて覚える



世界の国を旅するストーリー

導入の進め方

STEP 1
お話をうかがう
いまの運営と困りごとを一緒に整理します

STEP 2
使い方を決める
現場の運用に合う使い方を設計します

STEP 3
試してみる
実際の現場で動かして確かめます

STEP 4
定着まで伴走
使い始めてからの調整もサポートします

提供元　株式会社SOSHIP

放課後等デイサービス・学習塾・通信制高校サポート校を自ら運営しながら、現場で必要になった仕組みをアプリケーションとして開発・提供しています。

〒225-0024 神奈川県横浜市青葉区市ケ尾町1158-3 杉田ビル　／　soship.co.jp　／　導入のご相談：soship.co.jp/contact

アプリ・公式サイト